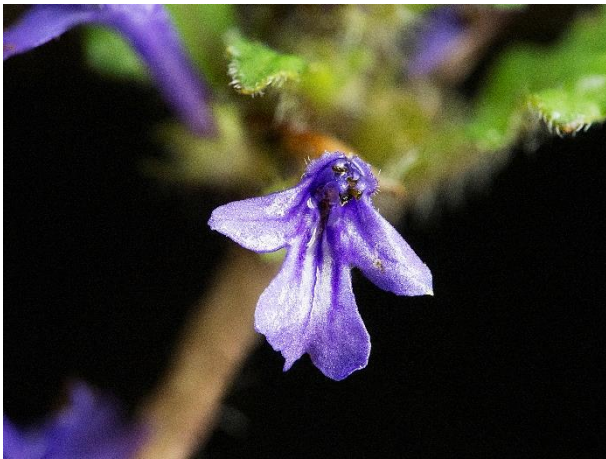


## 植物多様性センターの「シソ科キランソウ属」

シソ科は花卉の形状から以前は「唇形科」や「クチビルバナ科」と呼ばれました。主な特徴は葉が対生で茎の断面は正方形が多いこと。花は左右相称で5枚の花弁(合弁)と萼があることです。センターで今見られるシソ科にキランソウとオウギカズラがあります。共にキランソウ属で匍匐茎を伸ばし成長します。この2種、茎が四角くありません。カマボコ型です。匍匐茎についての十字対生の葉がより陽を受ける様に茎がねじれているためです。一方、同じキランソウ属でも茎が立つヒイラギソウは明瞭に四稜が解ります。花の形は良く似ていますが、園内のヒイラギソウの開花はもう少し先になりそうです。



キランソウの花  
下唇が大きく三裂する



キランソウの茎の断面  
四角でなく潰れた丸形



下から見たオウギカズラの花  
雄蕊が4本見える



毛深いヒイラギソウの花  
温室で開花したもの